



最終学期にできること・すべきこと

8日水曜日から今年度の3学期が始まり、すでに20日が経過しようとしています。先生方からみなさんに向けてさまざまな分野のお話を聞き、自分のものとする機会が多い学期の始まりだったはずです。

それらのことばを受け止め、みなさんはその後、どのように行動に移し、どのような態度をとるのかということに焦点をあてて少し話します。

- 1 何かを始めるきっかけ : 気持ち新たに挑戦しようという前向きな気持ちをもってください
- 2 自身の態度や行動の見直し : 謙虚な気持ちで、自分自身の進化のために素直に受け取りましょう
- 3 続けること : 小さなことでもコツコツと継続することで、大きな力になり得ます
- 4 反省し、克服しようと挑む : 前向きな姿勢で自身と向き合い、秘めた可能性に気づく機会です
- 5 自ら環境を整える : ”One for All All for One ～113名の生徒と先生たちで～”
学校生活の基盤を充実したものに

聞いている時点では、「なるほど、そういう考えもあるのか」や「いや、私はそうは思わないな」など自分の意見も持ちながら話を理解しようとしているのではないのでしょうか。

そして、そこから上記1～5のような考えを胸に率先して行動に移したり態度に表すことができれば素晴らしいです。

みなさんが立てる目標にも関係してくることですし、教科として学習する“学び”や集団生活のなかでも大いに役立つことです。今後、自分がどのような力をつけたいのか、そしてどのような人になりたいのかを念頭に置いて、一日一日を丁寧に過ごしましょう。そうすることで、きっと新しい発見があるはずです。そしてそれらを積み重ねることで必ずやレベルアップした自分になります。

あなたは、この話を読んで“どのような”行動や態度をとりますか。

百人一首大会 1月17日(金)

縦と横のつながりを深め、日本の伝統文化に触れる機会にすることを目的に生徒会主催で開催されました。読み手として学校司書である大藤先生をお招きし、一札一札をわかりやすく読んでくださいました。

司会進行は生徒会役員が分担して担当し、今回はA組対B組の対戦となりました。1グループ6人のグループを作り、2回戦実施しました。前半を終えての枚数差は、41枚。真剣に札と向き合う姿勢を伺うと、団体戦というだけではなく、個々の百人一首では、“この目標を達成したい”という熱意を感じられる場面が多々ありました。

最終的には、A組1725枚、B組1606枚という結果でした。結果が発表された瞬間にA組のみなさんの歓喜の声が聞こえてきました。



学校司書 大藤先生

←

聞き取りやすい声量で読んでくださいました。

